



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪市城東区永田3丁目 新築工事		
建設地	城東区永田3丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	721.66 m ²		
建築面積	399.92 m ²		
延床面積	2,077.21 m ²		
構造/階数	RC造 / 地上6階		
完了年(予定)	2027年3月		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

B+
BEE=1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 89%
③上記+②以外の 89%
④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.8)

音環境	3.2
温熱環境	2.4
光・視環境	2.2
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.0)

機能性	3.4
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	2.7

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.1)

生物環境	2.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.1)

建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.7)

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.6
汚染物質回避	2.7

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)

地球温暖化への配慮	3.4
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 外皮平均熱還流率0.8UA以下	Q2 サービス性能 風除室の1扉と2扉の間を3m以上とり、土砂の侵入を防いでいる	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 全住戸の省エネ平均BEI0.8を取得	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 駐車台数を多く設置。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4 LCGO2 89%達成
配慮事項	省エネ法に適合させて平均BEI0.8を達成。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	外皮平均熱貫流率 0.8UA以下に抑えている。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	特になし。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.80	住宅部分[BEI] 0.80	非住宅部分[BEI][BEI _m] -